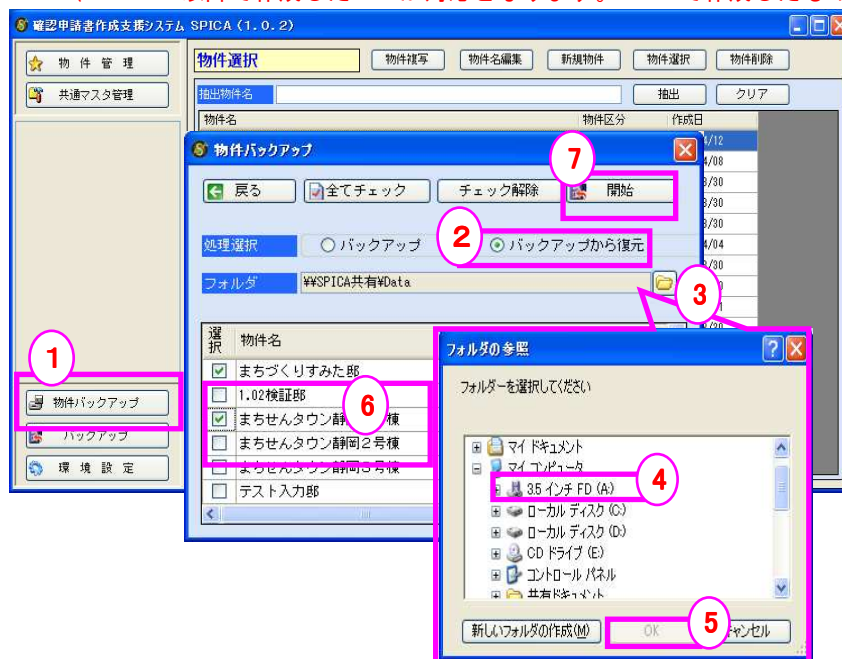


確認申請書作成支援ソフトSPICA（スピカ） Ver.1.0.2 プログラム改修概要

確認申請書作成支援ソフトSPICA〔スピカ〕 Ver1.0.1からVer1.0.2への主なプログラム改修項目は以下の通りです

1. F D出力で作成した申請用データをスピカで再度読み込むことを出来るように見直しました

※申請用にお持ち頂いたF Dにより、従前の様にセンター窓口パソコンで訂正・再出力等が出来るようになりました
(Ver1.0.2以降で作成したF Dが対応となります。1.0.1で作成したものは読み込み出来ませんのでご注意ください)

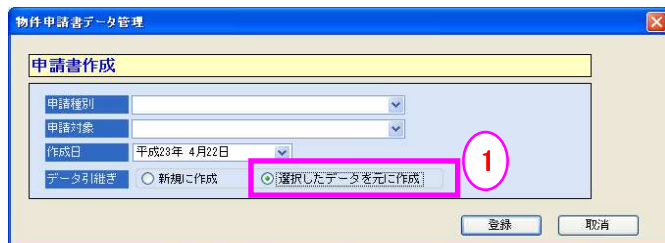


※F D出力したメディアをセットします

- ①. メインメニューの「物件バックアップ」をクリック
 - ②. 処理選択にて、「バックアップから復元」を選択
 - ③. フォルダをクリック
 - ④. F D等出力したメディアを選択し、該当する物件のフォルダを選択
 - ⑤. 「OK」をクリック
 - ⑥. 一覧表示された読み込み可能な物件から読み込む物件を選択（複数物件の選択可能）
 - ⑦. 「開始」ボタン をクリック
- ↓
- ～ 物件データが読み込まれます ～

2. 新規申請書作成時に、データ引継ぎ出来る参照元の書類を追加し、データ引継ぎ内容を見直しました

※同一書類からのデータ引継ぎの対応及びセンター書式（軽微な変更届等）へもデータが引継がれるようになりました



申請書作成時の選択項目「データ引継ぎ」欄を

- ① 「選択したデータを元に作成」を選択してください

3. 確認申請書（建築物）第4面 階別の床面積、第5面の並び順を変更しました

※登録した順番に係わらず、自動で上階から順に（P1、F2、F1、B1、B2、M1）並ぶようになりました



※尚、出力される帳票についても、同様に上階から出力されます

4. 出力様式の文言変更・修正 バグの修正 を行いました

バグ等の修正を行いました。ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。

たくさんのご指摘やご要望等のご連絡を頂き、ありがとうございました。
皆様から頂いたご要望を参考にさせて頂き、使い勝手の良いソフトとなるよう改善してまいります。